

# 諏訪地方の 経済概況 速報

2016.06

2016年5月末調査／2016年6月28日発行

SUWA AREA  
ECONOMIC  
OVERVIEW



諏訪信用金庫  
SUWA SHINKIN BANK

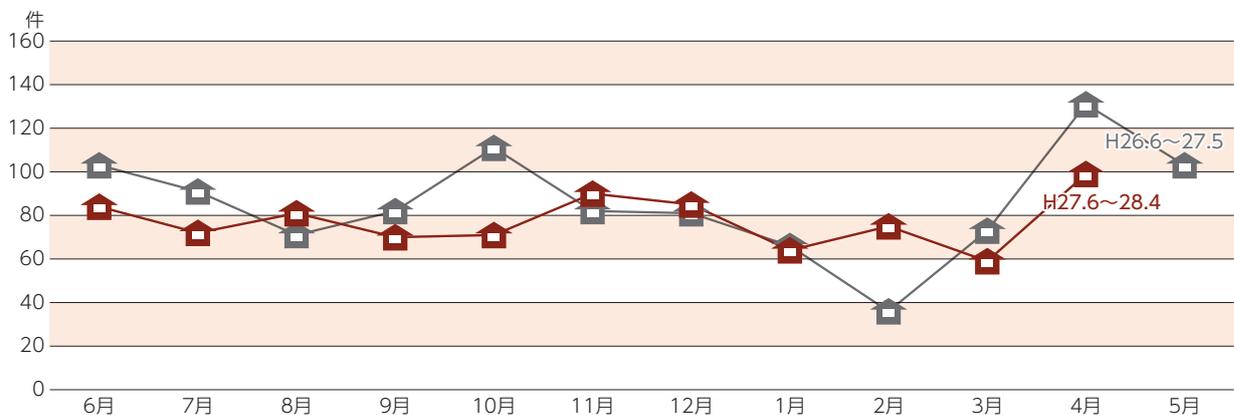
## 諏訪地方の概況

5月の伊勢志摩サミット（主要国首脳会議）では、世界経済に下振れリスクがある懸念を参加国が共有した。日本経済も円高の進行や新興国経済の減速、原油価格上昇などで大手企業に下振れ圧力がかかり、力強さを欠いた状態が続いた。諏訪地方では、製造業は取引先の状況によって企業間格差があり、先行きが見通しにくい状況が続いている。非製造業は、御柱祭里曳き祭の影響が各方面であり、商業や観光業ではその効果に明暗が分かれた。また、御柱祭に関係者が注力することが多かった建設業では、業界全体に停滞感があった。有効求人倍率は全国平均や長野県平均同様、依然、高水準を維持している。

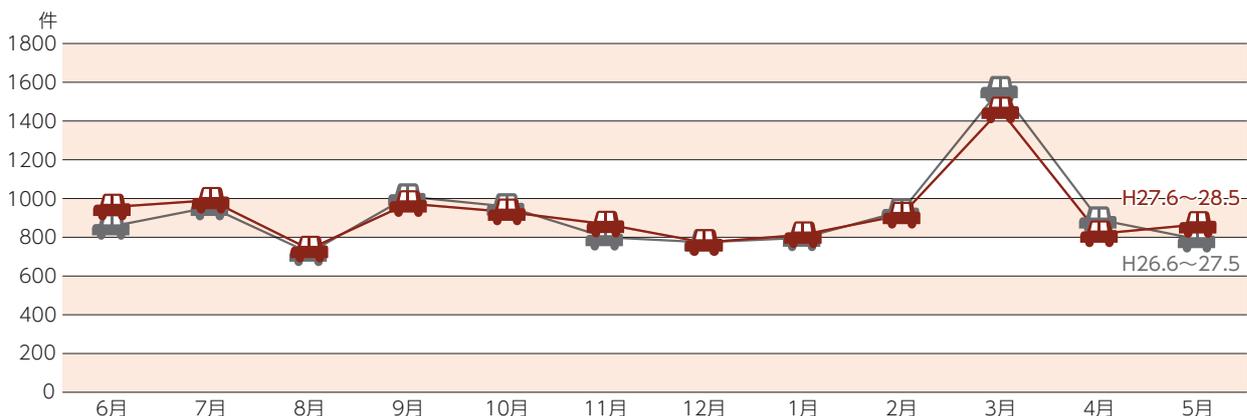
（諏訪信用金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ）

		実数	前年同期比	
有効求人倍率【4月】（諏訪公共職業安定所管内）		1.24倍	0.13ポイント	
手形交換高【5月】（諏訪手形交換所扱）	枚数	6,512枚	2,010枚	
	金額	9,394百万円	3,725百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	0枚	0枚
		金額	0千円	0千円
電力使用量【5月】（中電諏訪営業所管内）	電灯電力計	44,818MWh	△6.3%	
	高圧電力計	80,901MWh	△5.0%	
	合計	125,719MWh	△5.5%	
車庫証明取扱件数【5月】（諏訪地方合計）		866件	9.6%	
新設住宅着工戸数【H28年4月】（諏訪管内）		99戸	△24.4%	

### ■新設住宅着工件数の推移（諏訪地方合計）



### ■車庫証明件数の推移



海外経済の減速や急速な円高傾向が、大手企業の重荷となって足踏み状態が続く状況と、4月に発生した熊本地震や軽自動車の燃費不正問題などが、諏訪地方の企業に影響を及ぼしている。輸送用機械の中で自動車部品関連は、一部のメーカーや取扱い部品、輸出先などによっては安定した受注の企業もあるが、総体的には低調に推移している。燃費不正問題の今後の動向を気にかける企業も多い。金属製品加工は、波が激しい受注状況が続くが、一部には明るさの兆しも見られる。一般機械は、省力化機械や搬送用関連などで好調が続く中で、大手企業の設備投資計画の先送りが懸念されている。工作機械は総体的に低調な動きとなっている。電気機械はスマートフォン関連の受注が伸び悩んでいるが、電源装置関連は堅調に推移している。精密機械は、高難度に対応できる技術力のある企業に受注が集中する傾向がある。

<b>金属製品</b> プレス、メッキ、熱処理など	取引先各社からの受注は、波が激しい状況が続く、例年に比べて短納期傾向が強いと感じる企業が多い。ただ、現状では生産調整の影響を受け、ゴールデンウィークによる稼働日数減少を加味しても動きが鈍い状態ながら、新規見積もりの問い合わせが旺盛で最近にない動きとなっていることから、先行きの回復を見込む企業もある。
<b>一般機械</b> 工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など	最近の世界経済の動向から今後への懸念はあるものの、省力化機械、検査機械、搬送用機械関連は好調に推移している。これまで低調だった取引先から、少ロットの追加注文がひんぱんに出るようになり、回復を期待する企業もある。一方、工作機械関連は、総体的に受注量が減少傾向で、これまで堅調だった北米向けが減少したり、今後の受注計画が決定せず、安定しているとは言えない企業もある。
<b>電気機械</b> 家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、半導体関連など	一部プリンターやエアコン部品関係の受注が旺盛で、最近にはない高水準の取扱高の企業がある。電源装置関連、光通信関連、LED関連も好調に推移しているが、一方で受注回復予定だったが、中国経済低迷や在庫調整の影響を受け、先行きの見通しが不透明な企業もある。自動車の燃費不正問題で、カーナビなどの車載装置関連への影響を懸念する企業もある。
<b>輸送用機械</b> 自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など	自動車部品関連は、国内の自動車生産の低迷に加え、熊本地震や三菱自動車の燃費不正問題の影響が続く企業がある。三菱自動車関連は海外向けでも厳しい見通しとなっている。すべての取引先からの受注が減少し、厳しい月だったとする企業もあった。ただ、日産自動車との資本提携で落ち着いたとする企業もある。秋から冬にかけて回復するという予想もあるが、先行きには不透明感が漂う。船外機は2ストロークエンジン部品が主流の新興国向けが安定し、先進国向けは環境への配慮が重要視されている。重機関連の動きは総体的に鈍いまま推移している。
<b>精密機械</b> 時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など	医療用機器、研究機関向け機器などの高難度加工レンズ、監視カメラ部品は堅調。光学部品加工は世界的に需要はあるものの、日本のメーカーは厳しい状況。業界内では技術力の格差が広がり、平易な加工をする小規模事業者は受注の厳しさが増している。大手企業はコストダウン要請を強め、設備投資を抑制して工程ごとに外部発注する動きもある。
<b>製造業全般</b>	味噌は無添加、減塩商品が安定しており、消費者の健康志向が強まっている。円高進行で大豆などの原料価格は低下傾向となっている。寒天は御柱祭、大河ドラマの影響で需要が大幅増加した。衣料は夏物の最盛期が終了し秋冬物へ移行している。

## 商業

### 「御柱祭効果は明暗」

諏訪地方の5月は平均気温が高く、上社、下社の御柱祭里曳き祭は天候に恵まれたが、御柱祭効果は明暗が分かれた。曳行路に近い大型小売店や土産物店では入場制限するほどのにぎわいを見せた店舗があったが、反面、書店やプライダル関係店舗、ホームセンター、飲食店などでは期間中の来客が大幅減少した。御柱祭へ関心が向かい、母の日商戦も低調だった。自動車販売（軽を除く）は、諏訪地方の5月の車庫証明件数が866件で、前年同月比76件増加（9.6%）したが、軽自動車の燃費不正問題の今後への影響が懸念されている。

衣料	気温が上昇し、クールビズやTシャツ、ポロシャツなど夏物衣料の売上が伸びた。
食料品	生鮮野菜関係の価格は安定。精肉関係は飼料等の価格上昇で値上がり傾向。天候が良く例年に比べて青果が2週間ほど早く出回った。鮮魚は天然、近海物の品薄が続き、価格は2～3割増しで高止まりした。
家電製品	今夏は猛暑が予想されることから、早めの準備に向けてエアコンの売れ行きが伸びた。冷蔵庫や洗濯機も比較的好調に推移した。
自動車	県内の5月の新車新規登録台数は、登録車が4ヶ月ぶりに増加し、軽自動車は17ヶ月連続で減少した。全体では前年同月比327台減少（△4.3%）の7,252台で、9ヶ月連続で減少した。
ホームセンター	野菜や花苗とともに、プランター、肥料、散水、除草剤などの園芸用品が好調だった。御柱祭期間中は客足が止まり、マイナス効果だった。

## 観光・サービス業

### 「御柱祭効果は限定的」

5月の諏訪地方には、御柱祭の里曳き祭で全国から多くの観光客が訪れた。ただ、御柱祭効果の恩恵を受ける期間や地域が限定的で、苦戦した施設もあった。ゴールデンウィークの日並びがよく、天候にも恵まれて長期的な集客ができた前年同月に比べ、売上が減少した施設もある。御柱の曳行路に近い施設では宿泊客が集まる一方、高原の行楽地などでは、御柱年には減少傾向となる例年通り、客足は鈍った。今年のゴールデンウィークは前後半に分散し、入り込みは施設によって偏りが見られた。バス事故や熊本地震の影響が見られる施設もあった。

上諏訪温泉	昨年5月は総体の宿泊人数が例年より大幅増加していたが、今年は例年並みに戻った。施設別では前年同月比80%台～100%台。構成人数別では2～4人以外は全て減少し、特に30人以上の団体客の落ち込みが大きい。インバウンドは微増。熊本地震の影響で予約キャンセルとなった施設もある。大河ドラマで東信地域の入り込みが盛況で、諏訪への回遊が期待されている。
蓼科・白樺湖・車山等	御柱祭は蓼科等の行楽地ではマイナスに影響した上、ゴールデンウィークの休日が分散したことで観光客の取り込みに苦戦した施設が多い。御柱祭の恩恵が少ない富士見方面ではゴールデンウィーク期間は客足が鈍かったが、週末が好天に恵まれ、総体的には前年同月を上回った施設がある。団体ツアーの予約は、バス事故の影響で前年を下回っている。
下諏訪温泉	御柱祭効果で下社里曳き期間の3日間は盛況だった。ゴールデンウィークは前半に利用客が多かったが、後半と連休以降は伸び悩んだ。宴会は御柱祭後の反動が予想されている。
諏訪大社	上社・下社合わせた5月の参拝者数は約10万4千人。前年同月比では約4万5千人の増加（75.3%）となった。

# 建設業

## 「総体的に業界が停滞」

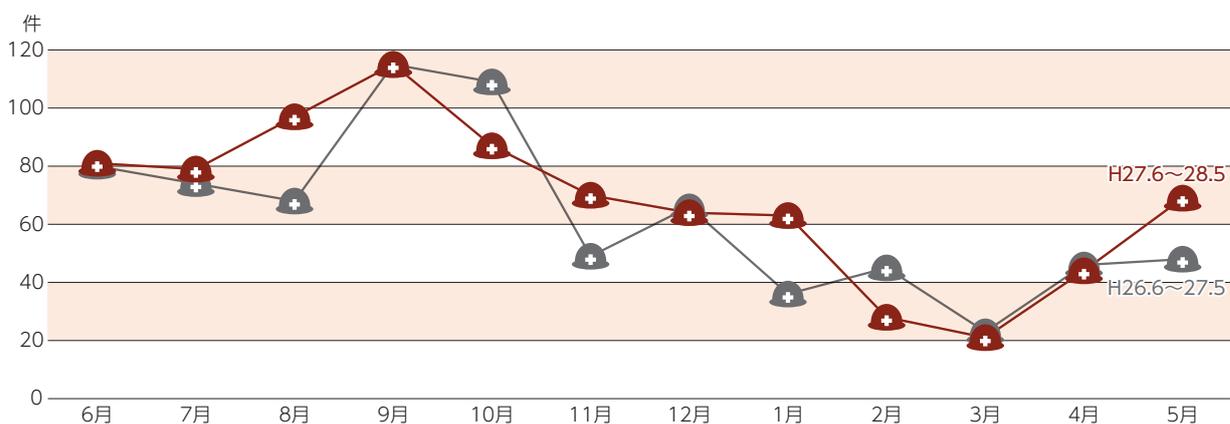
5月の市町村からの受注工事は、合計69件、568百万円となった。前年同月に比べ、件数は21件増加したが、前年にあった大型工事がなく、契約金額は357百万円減少した。国県関係の平成28年4～5月の累計公共工事（地元業者受注分）は前年同期累計比で件数、契約金額とも減少している。民間工事は、諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数が99戸で、前年同月比32戸減少（△24.4%）した。御柱祭期間中は業界全体の動きが鈍化していたため、終了後の活発化が期待されていたが、回復への動きは弱い。また、消費増税開始が再延期となったことで、一般住宅の駆け込み需要が期待できなくなり、先行き不透明感も出ている。

<b>公共工事</b>	5月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は諏訪建設事務所3件、諏訪地方事務所林務課1件、県警察1件の5件で、契約金額は157百万円だった。平成28年4～5月の累計は4月に受注がなかったため、5件、157百万円で、前年同期の累計比で件数は2件減少し、契約金額は86百万円減少（△35.4%）した。例年同様、年度初めは鈍い動きとなっている。 市町村からの5月の受注工事は、前年にあった原村保健センター新築工事などの大型工事がなく、建築工事6件225百万円、土木工事及び下水道工事50件284百万円、その他工事13件59百万円となった。
<b>民間工事</b>	諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比の利用関係別で「持家」は21戸減少の65戸、「貸家」は30戸増加の32戸、「分譲」は41戸減少の2戸、「給与」は同数の0戸となった。御柱祭終了後も動きは低調なまま推移している。長野県内の4月の新設住宅着工戸数は1,033戸で、前年同月比11.2%増加した。前年同月比の利用関係別では、「持家」が614戸で1.1%減少、「貸家」は261戸で38.8%増加、「給与」は1戸で皆増、「分譲」は157戸で30.8%増加した。

### ■諏訪地方の4月の新設住宅着工状況

区分 市郡名	合計 戸数	前 年	利用関係別								構造別			
			持家	前年	貸家	前年	給与	前年	分譲	前年	木造	前年	非木造	前年
岡谷市	12	16	12	16	0	0	0	0	0	0	10	16	2	0
諏訪市	45	20	17	19	26	0	0	0	2	1	45	17	0	3
茅野市	26	69	20	26	6	2	0	0	0	41	24	26	2	43
諏訪郡	16	26	16	25	0	0	0	0	0	1	15	25	1	1
合計	99	131	65	86	32	2	0	0	2	43	94	84	5	47

### ■公共工事の推移（市町村合計件数 調査・測量・設計など業務委託は除く）



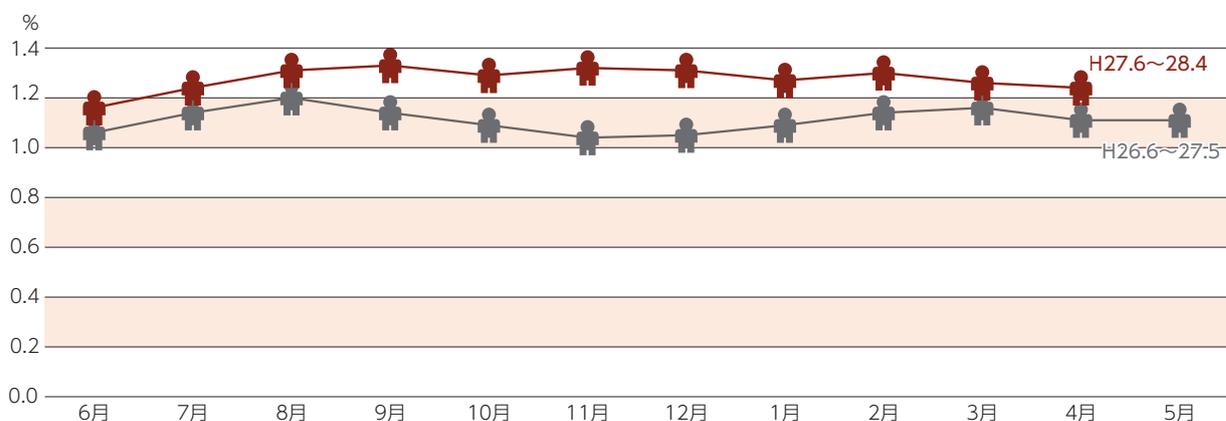
## 雇用

### 「諏訪の有効求人倍率35ヶ月連続で前年同月上回る」

諏訪地方の4月の有効求人倍率は、前年同月を0.13ポイント上回り、前月より0.02ポイント下回る1.24倍となった。1倍台の維持は25ヶ月連続で、前年同月を上回るのは35ヶ月連続となっている。全国平均は前月比0.04ポイント上昇の1.34倍で平成3年11月以来24年5ヶ月ぶりの高い水準となった。長野県平均は1.39倍で前月を0.08ポイント上回った。平成5年7月以来約23年ぶりの高水準で、1.3倍台の高水準は4ヶ月連続。22ヶ月連続で全国平均を上回り、県内4ブロック全てで、30ヶ月連続前年同月を上回っている。全体的には、夏の観光シーズンに向けて早めに雇用を確保する動きがある。一方で、製造業は派遣労働者の需要が高く、先行きへの警戒感も出ている。

諏訪地方の新規求人数（全数）は1,646人で、前年同月比87人増加（5.6%）した。要因別では「継続する人員不足」「業務量増大」が増加し、「欠員補充」「創業・新分野展開」は減少した。業種別の前年同月比の新規求人数は、「運輸業」「医療・福祉業」で増加し、「建設業」で減少した。新規求職者数は898人で、前年同月比138人減少（△13.3%）した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は49人で、前年同月比25人減少し、前月比では13人増加した。

#### ■有効求人倍率の推移



### 《企業のひとこと》

- 増税の再延期は、対処療法にすぎず、実体経済の体力をつける施策が急務。地方の中小企業や個人まで、マネーが循環するような構造改革、規制緩和が必要（金属製品製造業）。
- 人員、設備とも増強が必要な状態だが、長期的な先行きが不透明で基本的に慎重にならざるをえない（省力化機械製造業）。
- 取引先の生産ラインが止まるなど依然、熊本地震や三菱自動車の燃費不正問題の影響が残り、売上が減少している（自動車部品製造業）。
- 自動車業界全体が一連の不正問題で重苦しい雰囲気となっている（自動車部品製造業）。
- 海外子会社の人件費が高すぎるが、当初の契約となっており、給料引き下げが難しい（精密機械製造業）。
- 御柱用食材、飲料の注文が一気に増加し、里曳き期間中は大繁盛で入場制限もした（小売店）。
- 御柱祭の影響で来客数が大幅に減少した。前回の御柱時も減少したが、今回はそれより減少幅が大きい（飲食店）。
- 三菱自動車とスズキの燃費不正問題は、軽自動車に対する顧客の不信をあおり、軽自動車離れが加速するのは（自動車販売業）。
- 御柱祭関係の集客はできたが、一般の観光客が少なく、客足を取り込めなかった（観光業）。
- 御柱祭終了後の受注増を期待していたが、例年以上に動きが鈍く新築着工件数が減少している（建設業）。

# 長野県の金融経済動向

(2016年6月6日) 日本銀行 松本支店

— 2016年の公表日の前営業日時点で利用可能であった情報をもとに取りまとめ。

## 長野県経済は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、公共投資は緩やかに減少している一方、住宅投資は底堅く推移している。この間、設備投資は緩やかに増加しているものの、企業の投資姿勢は幾分慎重化している。また、個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。

以上のような最終需要のもとで、生産は新興国経済の減速の影響などから、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得は、着実な改善が続いている。

## 生産

半導体関連・電子部品等では、スマートフォン向けの増勢一服のほか、生産用機械向けで中国など新興国経済減速の影響がみられることから、生産は横ばい圏内の動きとなっている。

自動車関連では、北米向け等の海外需要が堅調なものの、国内向けで一部に弱さがみられることから、生産は横ばい圏内の動きとなっている。

機械・同関連部品等では、工作機械は、内外需要の増加により、生産は緩やかに回復しているものの、中国など新興国経済減速の影響がみられる。バルブも、プラント向け需要が堅調なことから、生産は高めの水準で推移しているものの、新興国経済減速の影響がみられる。計器も、生産は高めの水準で推移しているものの、建設機械向けを中心に新興国経済減速の影響がみられる。成形機は、内外需要の増加により、生産は緩やかに回復している。

飲料では、生産は横ばい圏内で推移している。

## 個人消費

県内大型小売店(百貨店、スーパー)売上高(当店調べ<店舗調整前>)をみると、4月は一部に弱さがみられるものの、基調としては緩やかに回復している。

家電販売は、4月は前年を下回った。

自動車販売は、5月は前年を下回った。

## 公共・住宅投資

公共工事請負額をみると、4月は国の発注分が増加したものの、県、市町村、独立行政法人等の発注分が減少したことから、全体では前年を下回った。

住宅着工戸数をみると、4月は持家が減少したものの、分譲、貸家が増加したことから、全体では前年を上回った。

## 雇用・所得

有効求人倍率をみると、4月は新規求人数が増加していることから、回復している。

所得面では、3月は一人当たり名目賃金および常用雇用者数が前年を上回ったことから、雇用者所得は前年を上回った。

## 物価

消費者物価指数(除く生鮮食品)をみると、4月は光熱・水道や交通・通信が下落したことを主因に、前年を下回った。



SUWA SHINKIN BANK

## 諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

TEL 0266-23-4567 FAX 0266-23-8044

<http://www.suwashinkin.co.jp/>